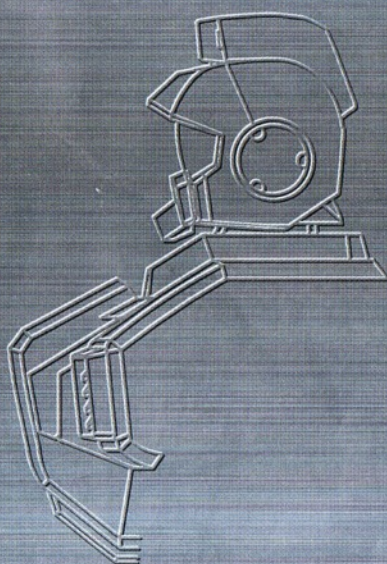




MOBILE SUIT  
RGM-79[G]

# GM SNIPER

E.F.G.F. FIRST PRODUCTION  
MOBILE SUIT

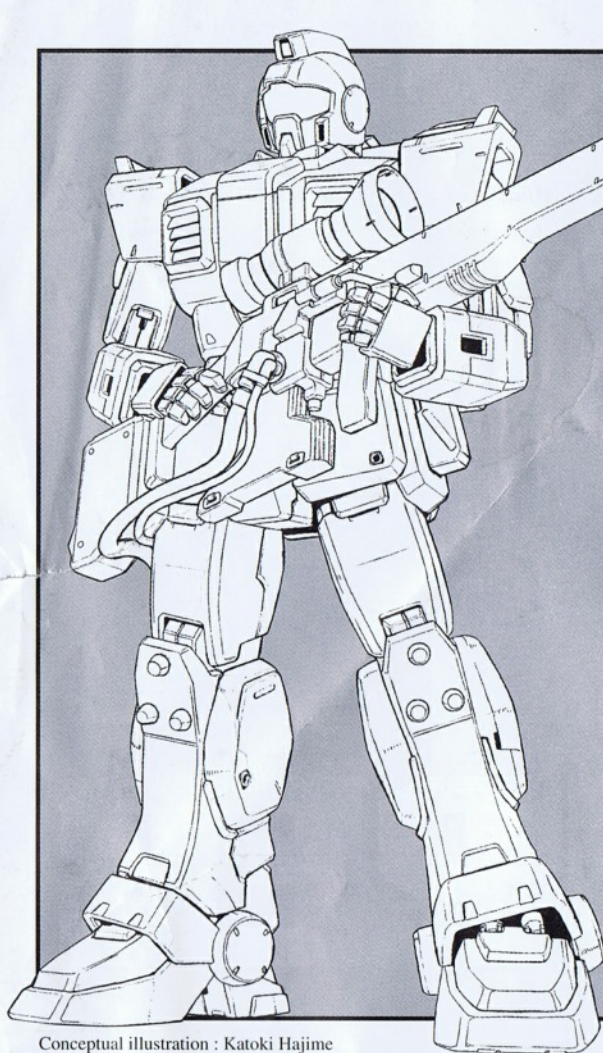


地球連邦軍  
先行量産型モビルスーツ  
RGM-79[G]「ジム・スナイパー」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル

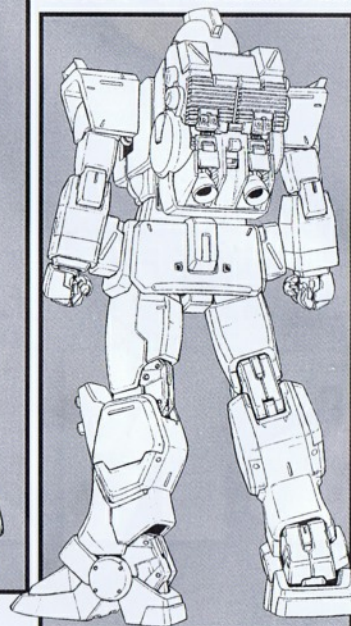




# RGM-79(G) GM SNIPER



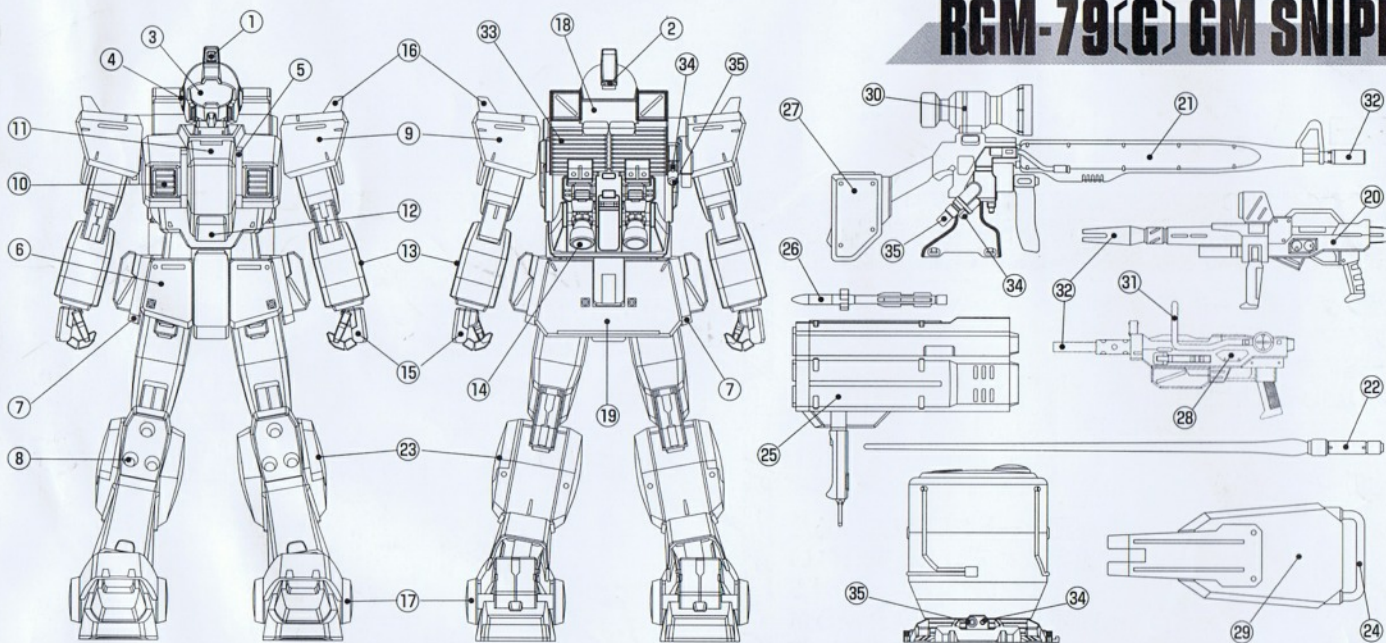
Conceptual illustration : Katoki Hajime



RGM-79[G]ジム・スナイパーは、量産型MS開発のため少数生産された陸戦型ジムの改修機である。“陸戦型ジム”とは塗装や専用武装以外にスペック上の差異はほとんどない。運用目的が他の機体と異なるため“ジム・スナイパー”と呼ばれているが、宇宙艦隊の特務部隊に配備されたRGM-79SC ジム・スナイパーカスタムのような改造が施されている訳ではなく、事実上の改修点はロングレンジ・ビーム・ライフルとのマッチング調整程度である。地球上のミリタリーバランスを一変させたオデッサ作戦終了後、地球連邦軍首脳は、弾道軌道を経由して衛星軌道上からジャブローに攻撃を加えることが可能な恐るべきMA“アブサラス”が完成間近であることを察知した。その開発拠点は、地球連邦極東方面軍機械化混成大隊、俗にコジマ大隊として知られる

部隊が展開する地域に隣接しており、同部隊には急速、当該する公国軍の秘密基地および開発工廠の捜索が命じられ、対抗措置として、超長距離射撃が可能なロングレンジ・ビーム・ライフルが緊急配備されることとなった。この武装は、文字どおり“戦艦並み”の威力と射程を發揮するのみならず、既存のビーム・ライフルを上回るスパンでの“照射”が可能であった。到着から間もなく、出力を想定3分の1ほどにセーブした状態で試験射撃が行われ、その威力と性能は確認されたものの、機体を経由するエネルギー量が予想値を上回り、機体の電装装備の稼働に支障を来すことが明らかとなった。そのため、機体と銃身の強制冷却を始め、専用のエネルギー回路を持つ機体が必要となったのである。かくして、その運用を前提としてチューンされた機体がジム・スナイパーであり、前線での運用時に峻別にするため機体塗装のパターンが変更された。とはいえ、それ以外の仕様は陸戦型ジムと全く同一であるため、同機が使用する武装は基本的に全て運用することができる。同仕様の機体はアブサラス開発基地攻略戦に少なくとも3機以上が配備され、ほぼ全ての機体が戦果を上げている。また擬装網(カモフラージュネット)の装備もあったとされ、スナイパー用に特化しマット仕様にペイントされた機体色と相まってカモフラージュ効果は高かったと言われている。

## RGM-79(G) GM SNIPER



- |                 |                 |                  |             |                   |
|-----------------|-----------------|------------------|-------------|-------------------|
| ①メインカメラ         | ⑧二ジョイントスパイクアーマー | ⑮マニピュレーター        | ⑳ビーム・サーベル   | ㉑シールド             |
| ②リアカメラ/センサー     | ⑨ショルダーアーマー      | ⑯スリングバー          | ㉒サーベルラック    | ⑳サイトスコープ          |
| ③デュアル/サブセンサーアレイ | ⑩ダクト/インテーク      | ⑰アンクルサポートユニット    | ㉓キャリングハンドル  | ㉑フォールディングストック     |
| ④コ・プロセッサポート     | ⑪コクピットハッチ       | ⑱ランドセル           | ㉔ミサイル・ランチャー | ㉒マズル              |
| ⑤クレーンアーム        | ⑫メンテナンスハッチ      | ⑲リアアーマー          | ㉕ミサイル       | ㉓ヒートシンク           |
| ⑥フロントアーマー       | ⑬マウントラッチ        | ㉒ビーム・ライフル        | ㉖ストック       | ㉔クーラントサーキュレートコネクタ |
| ⑦サイドアーマー        | ⑭メインスラスタ        | ㉑ロングレンジ・ビーム・ライフル | ㉗100mmマシンガン | ㉕エネルギーサブライコネクタ    |

注) “ジム・スナイパー”と呼ばれる機体のうち、陸戦型ジムをベースとしたものは、東南アジア方面軍所属機が確認されている。



# 組み立て前の基本説明

## 必要な道具

〈ニッパー(プラスチック用)〉  
・パーツをランナーから切りはなしてゲートを取るのに使います。

〈ピンセット〉  
・小さい部品を取り付けたりシールを貼るのに便利。



〈はさみ〉  
・ガンダムデカールを切りはなす際に使います。

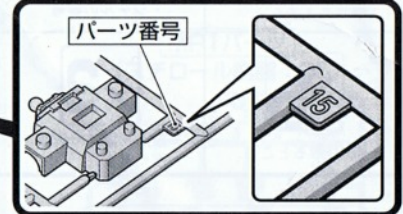
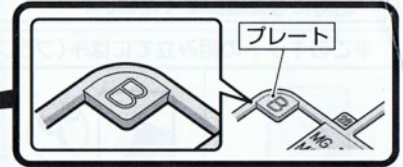
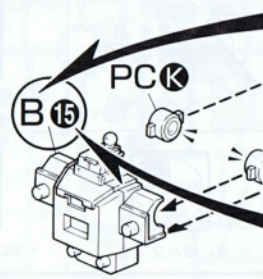
〈+ (プラス) ドライバー〉  
・ビスを締める際に使います。

※この商品に道具類は入っていないので、別にご用意ください。

## 説明書の見かた。

説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。(パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいでしょう。)

1 (胸部の組立)  
(1) BODY UNIT

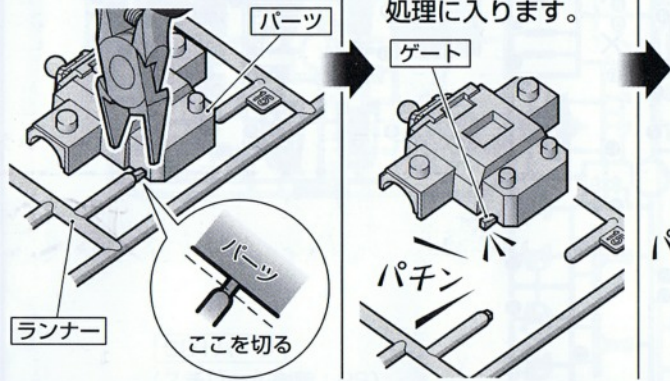


## パーツの切り取りかた。

① まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

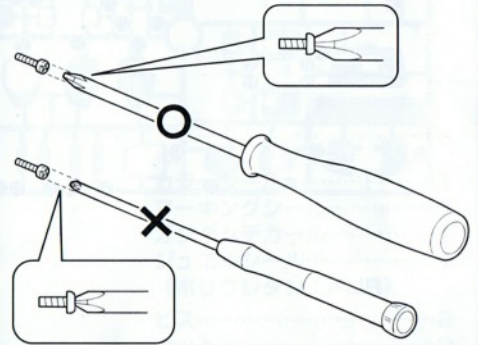
② パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

③ ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



## ドライバーの選び方

※ビスに合ったドライバーをご使用ください。サイズの合わないドライバーを使用するとビスを破損してしまう場合があります。



## ガンダムデカールの貼りかた。

① ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

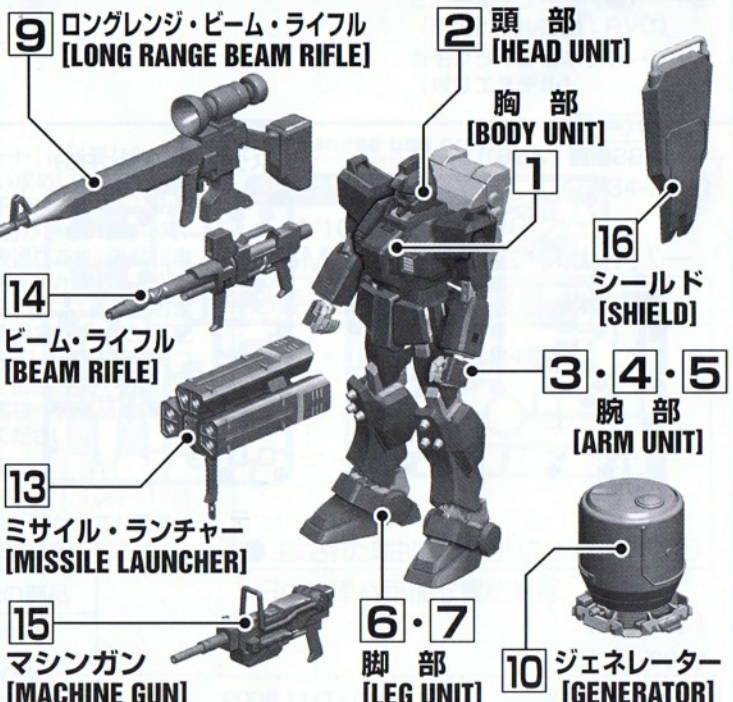
② 保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③ シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。



## 説明書をよく読んで完成させましょう。



【基本説明】 HOW TO  
【部品表】 PARTS LIST  
【胸部】 BODY UNIT  
【頭部】 HEAD UNIT  
【腕部】 ARM UNIT  
【脚部】 LEG UNIT  
【完成】 FINAL ASSEMBLY  
【ロングレンジ・ビーム・ライフル】 LONG RANGE BEAM RIFLE  
【武器】 WEAPONS  
【シール】 SEAL



### 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

※このキットの組み立てには+（プラス）ドライバーをしますので別にご用意ください。

### 〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・塗装をするところ



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます



・どちらかを選んで取り付ける



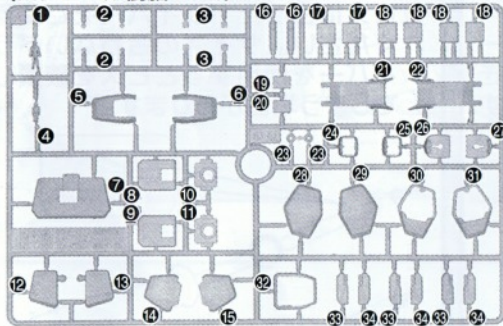
・反対側も同じように動かします

## パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)

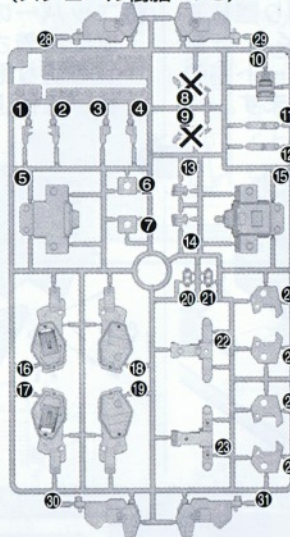
### Aパーツ

(スチロール樹脂：PS)



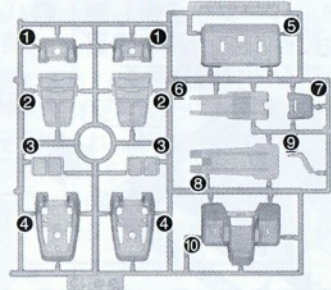
### Bパーツ

(スチロール樹脂：PS)



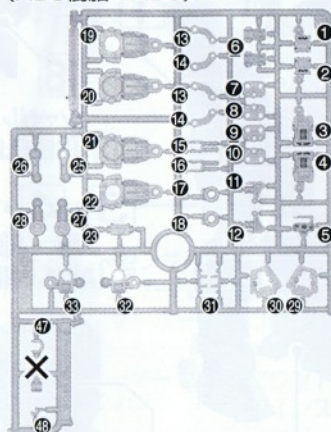
### Cパーツ

(スチロール樹脂：PS)



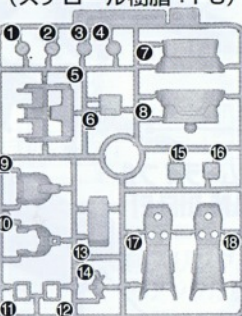
### Dパーツ

(ABS樹脂：ABS)



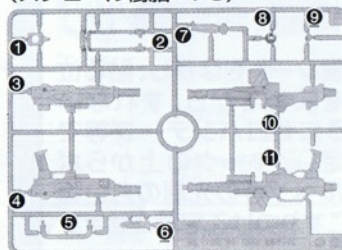
### Eパーツ

(スチロール樹脂：PS)



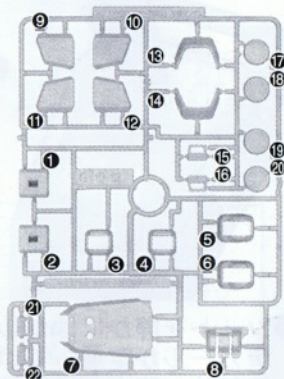
### Fパーツ

(スチロール樹脂：PS)



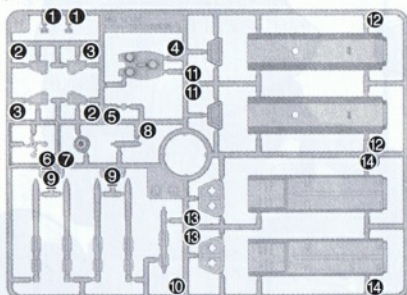
### Gパーツ

(スチロール樹脂：PS)

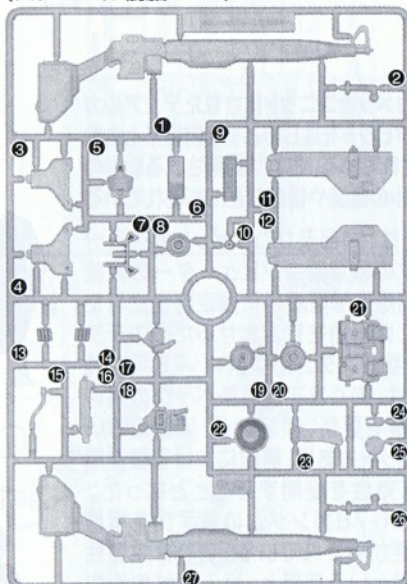




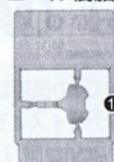
Hパーツ (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



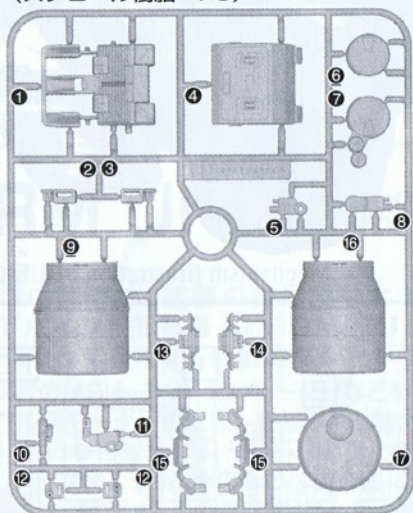
Iパーツ  
(スチロール樹脂: PS)



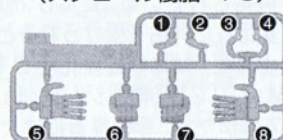
Kパーツ  
(スチロール樹脂: PS)



Lパーツ  
(スチロール樹脂: PS)

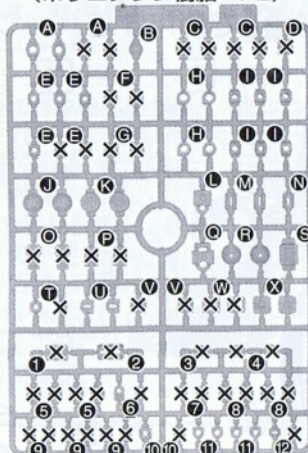


MP1パーツ  
(スチロール樹脂: PS)

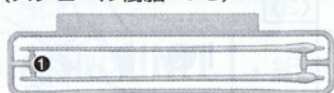


PC-122A

(ポリエチレン樹脂: PE)



SB1パーツ  
(スチロール樹脂: PS)



- カラーシール.....1
- マーキングシール.....1
- ガンダムデカール.....1
- ジュエルシール.....1  
(ポリウレタン: PUR)
- ビス.....2
- ナット.....2
- ビス座付.....2
- ビニールチューブ (太) .....2  
(塩化ビニル樹脂: PVC)
- ビニールチューブ (細) .....2  
(塩化ビニル樹脂: PVC)
- カモフラージュネット.....1  
(ポリエステル)

《お買い上げのお客様へ》部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号/番号/数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書(裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。)にて下記までお申し込みください。なお、部品注文カードを御使用にならない場合は発送が遅れる場合がございます。又、部品注文カードはコピー(拡大含む)での使用も可能です。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じることがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは<http://bandai-hobby.net>より▶お客様へ■部品注文「部品が必要になったらこちらのページをご覧ください。」の所をクリックしてください。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター  
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12  
TEL 054-208-7520

- ・電話受付時間 月～金曜日  
(祝日を除く) 10時～16時
- ・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

《料金表》●部品代は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	デカール類	L⑨・L⑩	その他の部品
部品代	150円	各40円	各80円	各40円
郵送料	200円	80円	140円	120円

For Japanese use only.

部品注文カード 0146734-3500

1/100SCALE MGシリーズ  
RGM-79[G] ジム・スナイパー

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわした/なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号 (年齢 (才)

2006.11/T・ON

※コピー使用可

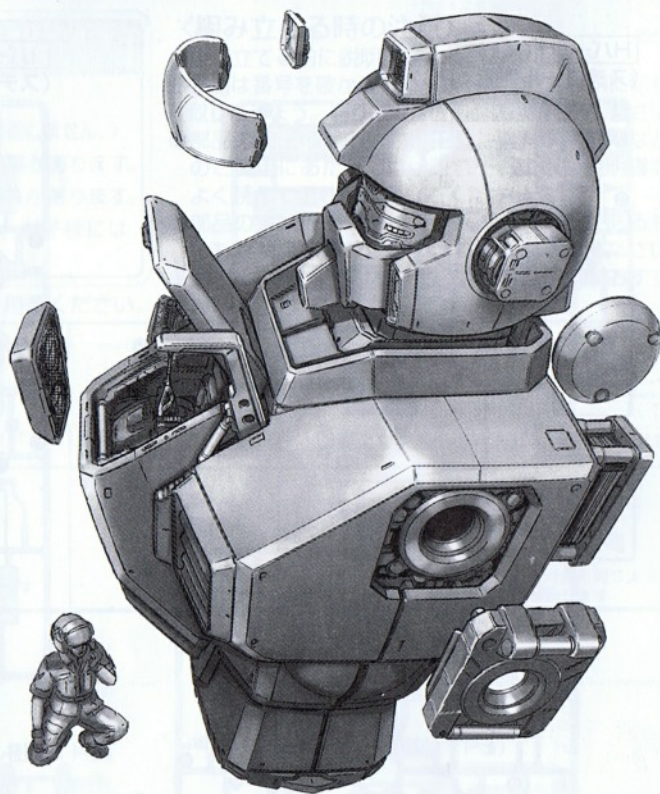


# BODY & HEAD UNIT

## 〔胸部〕 〔頭部〕

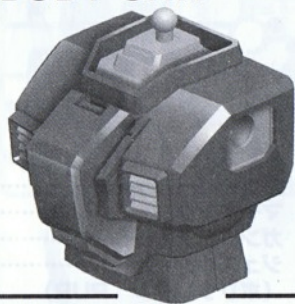
RGM-79[G]の頭部は、頭頂部のメインカメラとユニット化されたデュアルカメラを単体のデバイスとする構造を持つ。コックピットをはじめとする制御系と主動力炉の構造や配置が重力下での運用に特化されている。これは運用される戦術の根本的な差異によるもので、それはランドセルの機能や構造などにも現れている。

RGM-79[G]のメインコンピューターは、頭部及びコックピット周辺に分散配置されている。これは、フルスペックの教育型コンピューターの量産が困難であったという事情にもよるが、実際には陸戦用に限定特化された機体には過剰な品質であり、スペック的には稼働を安定させるためのデチューンさえ施されていたのである。陸戦型ガンダムには、RX-78系の純正品も採用されていたが、陸戦型ジムには、あくまで近いスペックの同等品が供給されている。ただし、部品の交換や更新、改装など、補給においては安定した供給を受けられるというメリットもあり、前線における稼働率の向上など、MSの量産化そのものの有効性を証明することとなった。RGM-79[G]陸戦型ジムは、いわゆるRX-78ガンダムの量産化を指標としてはいたが、その構造には大幅な変更が施されている。これは生産性の問題というよりも、主に重力下での運用という前提と、投入領域の優先順位から導き出されたシミュレーションに基づくものであった。一年戦争後期に大量に生産されたジムが、大幅にコストダウンされていたとはいえ、基本的にはRX-78ガンダムの構造を継承していたのに比べ、この機体は基礎設計そのものに陸上での運用を想定した改装が施されているのである。

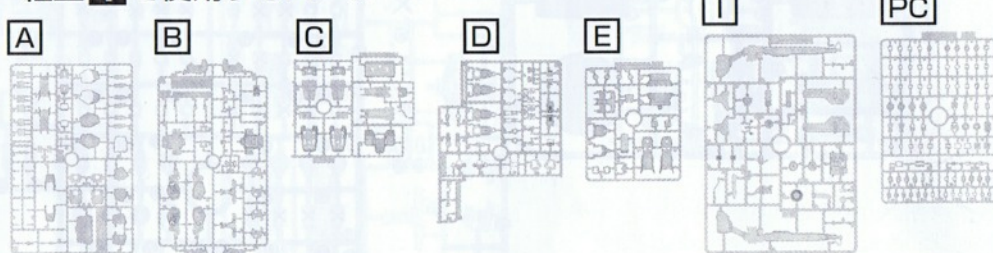


Mechanism illustration : BEE-CRAFT

### 1 BODY UNIT

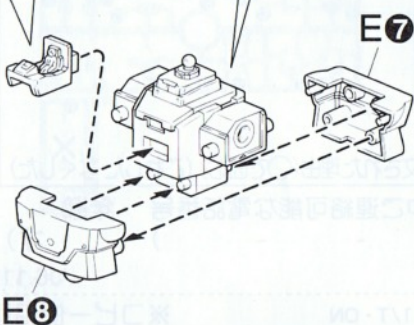
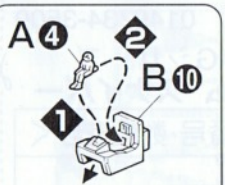
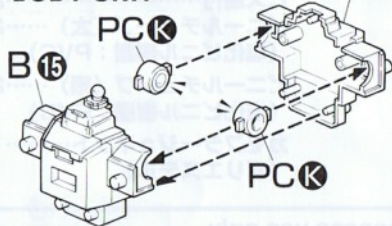


・組立1で使用するパーツ

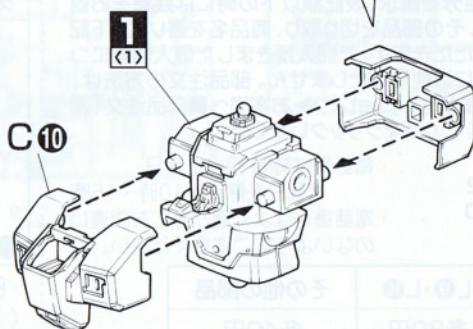
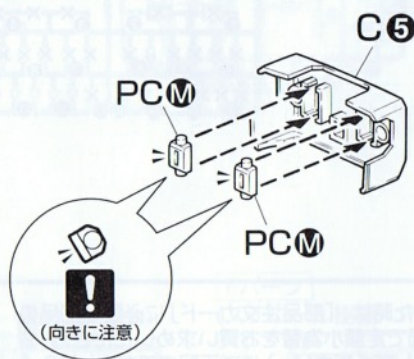


#### 1 〔胸部の組立〕

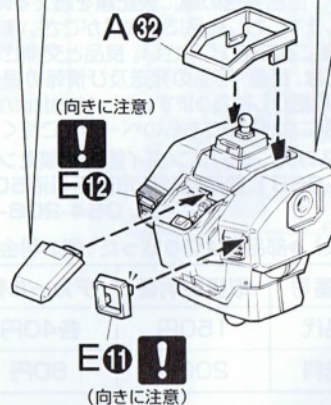
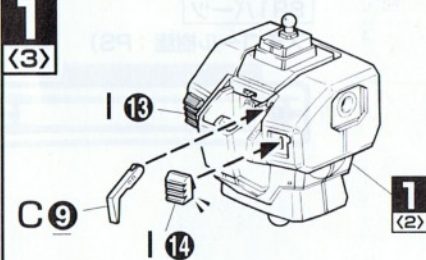
##### 1 (1) BODY UNIT



##### 1 (2)



##### 1 (3)

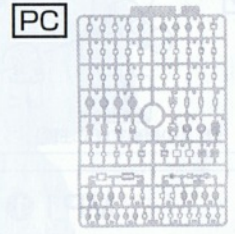
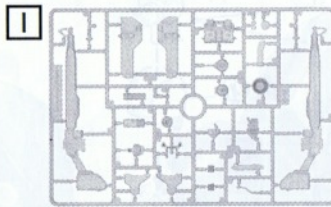
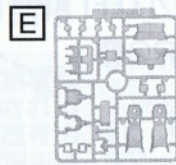




## 2 HEAD UNIT



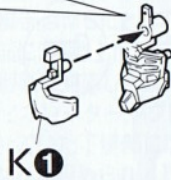
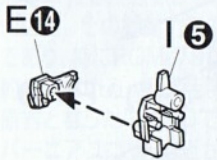
・組立2で使用するパーツ



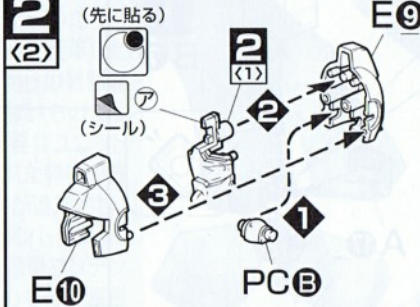
・カラーシール

### 2 (頭部の組立)

#### (1) HEAD UNIT



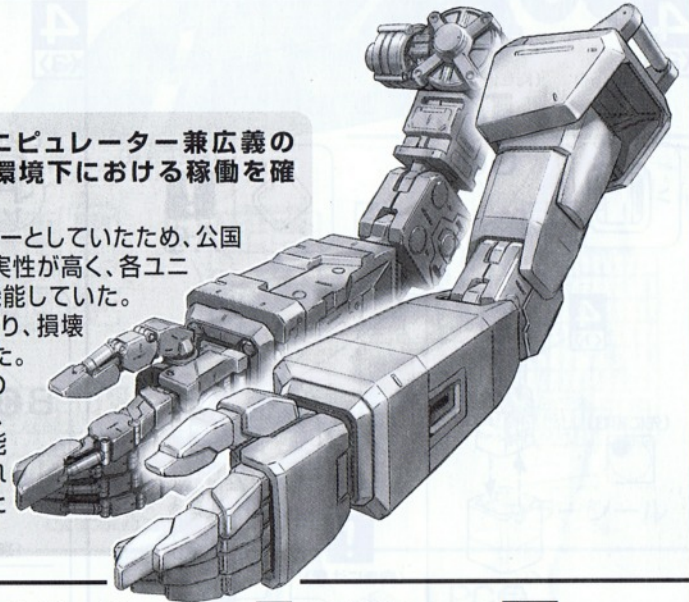
### 2 (2)



## ARM UNIT (腕部)

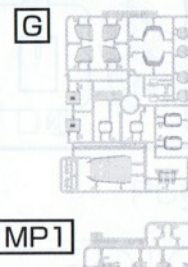
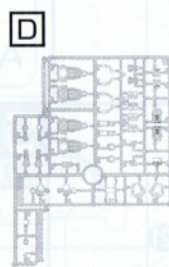
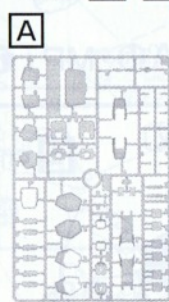
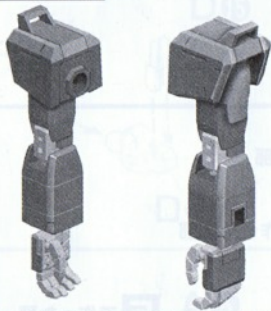
MSの腕部は、武装の選択肢を大きく拡大する汎用マニピュレーター兼広義のハードポイントでもある。RGM-79[G]の腕部は、地球環境下における稼働を確実なものとするため、徹底的なシーリングが施されている。

連邦製のMSは、フィールドモーターなどを基本的なアクチュエーターとしていたため、公国系のパルスモーターに比較して制御系と動力系の取り回しなどの確実性が高く、各ユニットのブロック化もあって、それらは運用上のフェイルセーフとして機能していた。ただし、その分ユニットそのものは構造的にデリケートなきらいがあり、損壊した部位は、基本的にそのユニットごとと交換するのが前提とされていた。ただし、実際の戦線において、実戦投入が始まったばかりの新兵器の整備部品が潤沢に用意できるわけも無く、予備パーツなどの不足は、陸戦部隊にとって折り込み済みであった。そこで、陸戦型ジムは、可能な限り各部のユニットをさらに細分化し、損耗の激しいことが予想される部位は、現地での修繕が可能ないように設計変更されている。このことがジム・スナイパーへの仕様変更を容易にしていたと言えるだろう。



## 3 4 5 ARM UNIT

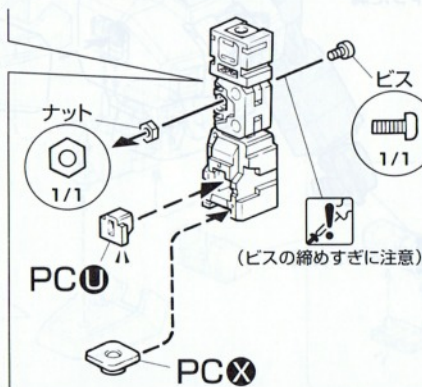
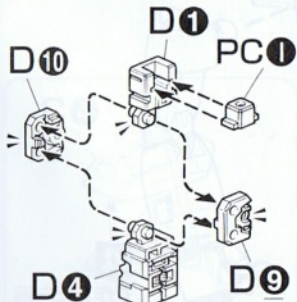
・組立3・4・5で使用するパーツ



・ビス ・ナット ・ビス座付

### 3 (右腕の組立)

#### (1) RIGHT ARM



### 3 (2)



【基本説明】 HOW TO PARTS LIST BODY UNIT HEAD UNIT ARM UNIT LEG UNIT FINAL ASSEMBLY LONG RANGE BEAM RIFLE WEAPONS SEAL



### 3 (3) (向きに注意)

D27 (ビス座付) 1/1  
 D18 (ビスの締めすぎに注意)  
 A27 (向きに注意)  
 B7 (向きに注意)  
 A17 (向きに注意)

MP1 1, B1, B4, MP1 3, B13, A18・MP1 6, A18・MP1 8 (選んで取り付け)  
 (選んで取り付け)

### 4 (左腕の組立) (1) LEFT ARM

D2, D8, D7, D3, PC1, PC0, PCX  
 (ビスの締めすぎに注意)  
 ナット 1/1  
 ビス 1/1

### 4 (2) (向きに注意)

G4 (向きに注意)  
 A24 (向きに注意)  
 G1 (向きに注意)  
 A19 (向きに注意)

(先に組む)  
 (選んで取り付け)

### 4 (3) (向きに注意)

D17 (向きに注意), D28 (ビス座付) 1/1  
 (ビスの締めすぎに注意)  
 MP1 2, B3, B2, B14, MP1 4, A18・MP1 5, A18・MP1 7 (選んで取り付け)  
 (選んで取り付け)

A26 (向きに注意), B6 (向きに注意), A17 (向きに注意)

### 5 (肩の組立) (1) SHOULDER UNIT

G22 (選んで取り付け)  
 G21 (選んで取り付け)  
 ※ピンを切り取らないように注意してください。  
 G16, G11, A11 (向きに注意), G9, G15, A10 (向きに注意), G10

### 5 (上半身の完成) (2) UPPER BODY

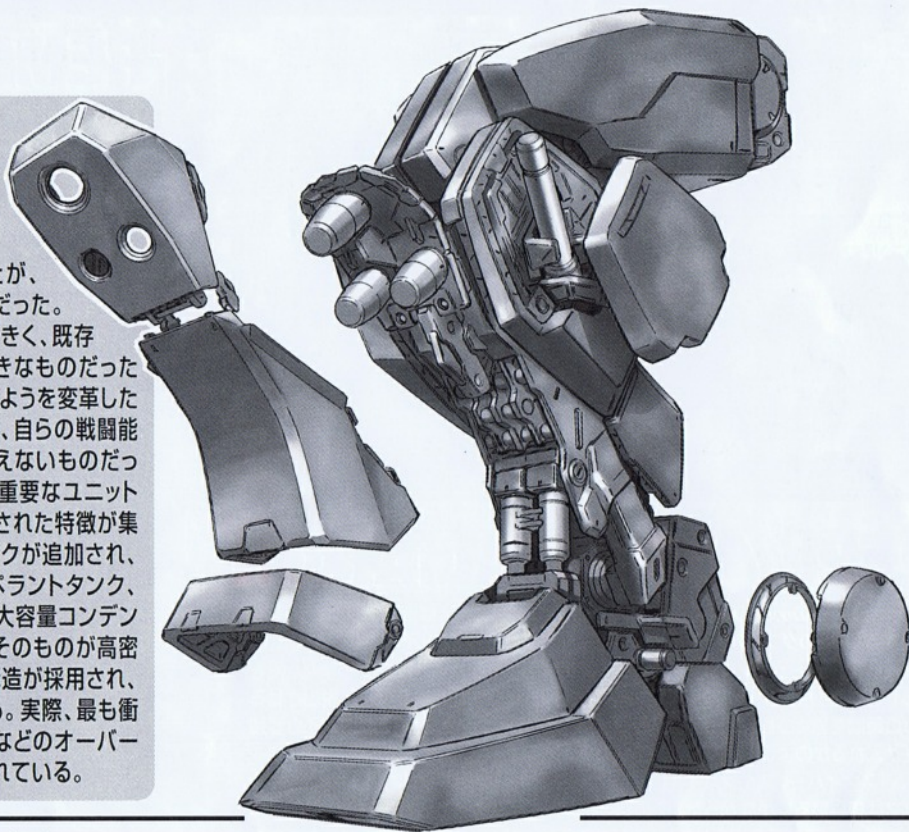
2 で作った頭部  
 1 で作った胸部  
 5 (1) で作った肩  
 3 で作った右腕  
 5 (1) で作った肩  
 4 で作った左腕



# LEG UNIT (脚部)

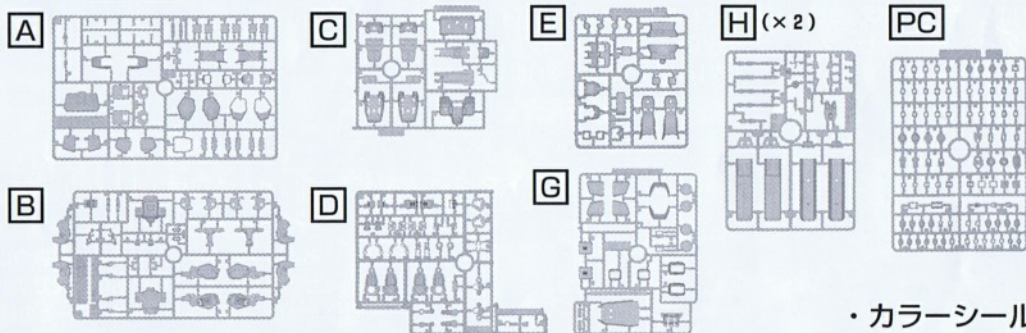
地上においてMSの脚部は、特に重要なユニットであると同時に、最も酷使される部位でもある。特に陸戦型ジムは、既存の軍用車両などに替わる兵器としての運用も想定されていたのである。

MSは既存の兵器体系を刷新する存在ではあったが、兵站や戦線維持そのものにまで適用されることは希だった。ことに、地上戦においては地勢や気候などの影響が大きく、既存の戦術に則らなければならない要素も依然として大きなものだったのである。ただし、戦闘兵器としてのMSが戦場のありようを変革したのも確かで、戦闘車両をはるかに上回る走破性を持ち、自らの戦闘能力を単独で移送できるという兵器は、それまではありえないものだったのだ。その機動力をもたらす脚部はMSにとって最も重要なユニットであり、特にRGM-79[G]の脚部には、地上用に特化された特徴が集約されている。膝部装甲には格闘戦に対応したスパイクが追加され、原器となったRX-78ではコ・ジェネレーターやプロペラントタンク、バーニアユニットなどが収められていた下腿部には、大容量コンデンサーやビーム・サーベルラックなどが収められ、構造そのものが高密度にまとめられている。加えて、塵埃の混入しにくい構造が採用され、メンテナンスも少人数で可能なように配慮されている。実際、最も衝撃を受けやすく、金属疲労を起こしやすい足部接地面などのオーバーホールは、搭乗者単独でもある程度可能であったとされている。



## 6 7 LEG UNIT

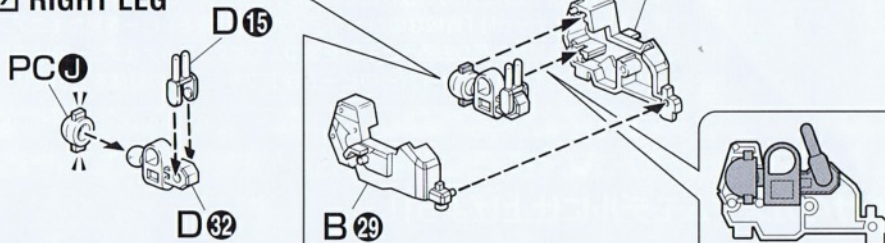
・組立6・7で使用するパーツ



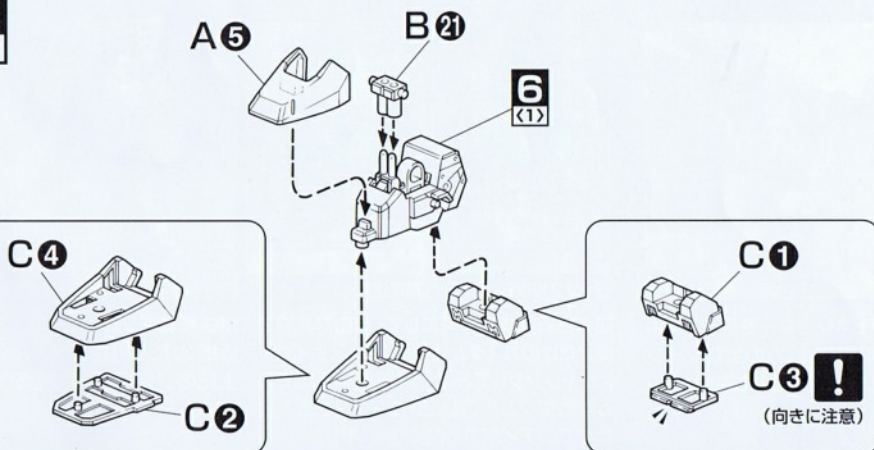
・カラーシール

### 6 (右足の組立)

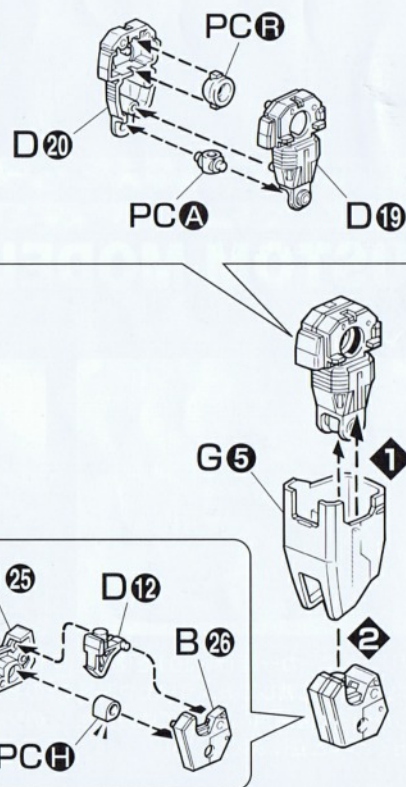
(1) RIGHT LEG



6 (2)



6 (3)



HOW TO

【基本説明】

【部品表】

【胸部】1

【頭部】2

【腕部】3 4 5

【脚部】6 7

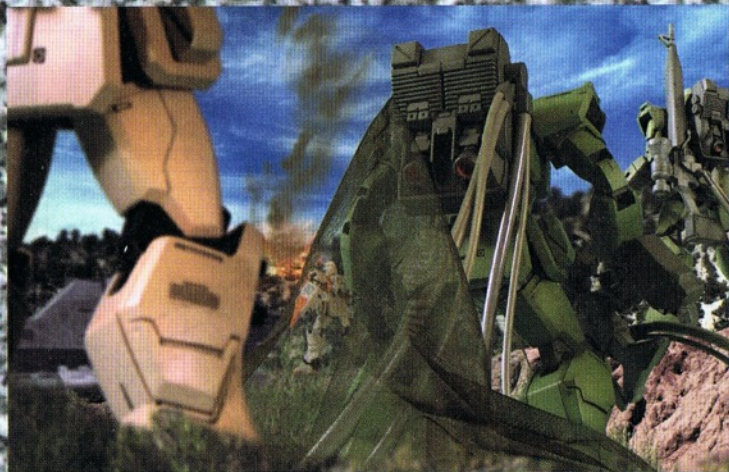
【完成】8

【ロングレンジビームライフル】9 ~ 12

【武器】13 ~ 22

【シール】





## TREMBLING MOUNTAIN

U.C.0079年12月。MAアブサラスの開発拠点を手ベットのラサ近郊に特定した地球連邦極東方面軍機械化混成大隊は、坑道が迷走する一帯に大規模空爆を敢行。基地内部への侵入路を探索する。山麓に陸上戦艦とも呼ばれるビッグ・トレイを鎮座させ、山体の形を一変させる程の爆撃を見舞っても侵入路は発見できず。囷の坑道に仕掛けられた爆弾によって味方の被害は増える一方であった。業を煮やした連隊長のイーサン・ライヤー大佐は、MSの融合炉をわざと誘爆させ、その核爆発によって基地全体を壊滅させようと企む。「アイツを宇宙へ上げてレベルに笑われるのは何としても避けたい。…判るね?」持ちかけられたコジマ中佐は沈黙するしか無い。その瞬間にも畏の爆弾が爆発し、捜索隊は被害を被っていた。動員された数機のジム・スナイパーも、所在なげにその爆発を見守るしか無かった。

## REPLY OF RETALIATION

連邦軍の必死の捜索をあざ笑うかの様に、ギニアスは遂にアブサラスⅢを起動する。2機のグフ・フライトタイプを従えたアブサラスⅢは、その激烈なビーム砲で威嚇のボーダーラインを大地に穿ち、一時休戦を持ちかける。「どういう事だ。何を企んでいる!?!」パイロットのアイナは、負傷兵を乗せたケルゲレンを無事に脱出させるための時間を稼ぐつもりだった。「それもよからう」イーサンは、アイナの捨て身の要請を受け入れるかのような返答をした直後、ケルゲレン狙撃をジム・スナイパーに命じる。「ジム・スナイパー、スタンバイ!!」「し、しかし今!!」「私は何も約束した覚えは無い」コジマは押し黙るしかなかった。その時、ギニアスはアイナのことを無視して攻撃の口火を切った。「先手を取られた!!」舌打ちするイーサン。その時点でアブサラスⅢを狙えるジム・スナイパーはいなかった。イーサンは冷酷に言い放つ。「病院船を、撃墜せよ!!」「どっちもどっちだ」コジマは吐き捨てるように呻く。「冷却パイプ、接続急げ」「ロングレンジ・ビーム・ライフル、スタンバイOK」「冷却システムOK」「冷却剤を絶やすな!!」地上より放たれた赤い光条がケルゲレンのブースターを目標に襲いかかる!!



## THE ENDS OF THE INSANITY

アブサラスⅢはその主砲を最大出力で放った。その光の奔流は、敵の本陣であるビッグ・トレイをかすめて背後の山を消し飛ばす。「アイナ、これは何かの冗談か?」「いいえ、これが私の答えです」ケルゲレンの脱出は叶わず、状況は絶望的だった。それでもアイナはシローとの絆を信じ、ギニアスに投降を呼びかける。「位置に着きました。臨界まで1分」ようやく狙撃位置にたどり着いたジム・スナイパーがアブサラスⅢに狙いを定める。動きを止めたアブサラスⅢの中で、アイナはギニアスを思いとどませようとしていた。だがそれは兄の心を微塵も動かす事は無かった。ギニアスに撃たれコクピットから投げ出されたアイナをシローのEz-8が受け止める。「死ぬなッ、アイナーツ!!」「貴様なのかつ!!」アイナに駆け寄るシローを見たギニアスは、Ez-8ごとふたりを葬り去ろうと主砲を撃つ。「さようならアイナ、…嫌いではなかった」その時、ジム・スナイパーのビームがアブサラスⅢの躯体を貫いた!!

## CUSTOM MODEL キミだけのカスタムモデルに仕上げよう!!

©創通 エー・ジェンシー・サンライズ

### ■ウェザリングをしてみよう!!



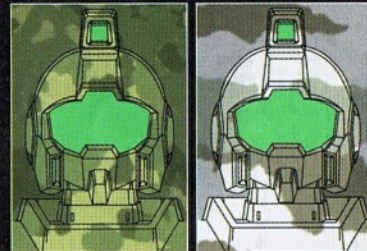
ウェザリングマーカー等(別売り)を使ってウェザリングに挑戦してみよう!!土や泥等の汚しが似合う陸戦用MSならではの雰囲気が出て、グッと立体映えるぞ!!

### ■名シーンを再現!!



付属の外付けジェネレーターを使って劇中の名シーンを再現!!大迫力の狙撃シーンのジオラマを作り込んでみるのも楽しいぞ!!

### ■イメージーションを広げてみよう!!



ジャングル迷彩

都市迷彩

図の迷彩見本を参考にして、自由な発想で自分だけのカスタム仕様のジム・スナイパーにチャレンジしてみよう!!同時期のMSである陸戦型ジムや、陸戦型ガンダムと組み合わせでのディスプレイも面白いぞ!!



MG 陸戦型ジム  
価格 3,150円(税5%)  
上記のプラモデルは別売りです。

※価格はメーカー希望小売価格です。

※写真の完成品は、塗装してあります。 ※写真・イラストと商品とは、多少異なりますのでご了承ください。



# PAINTING

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。 ※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットをよりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

## ジム・スナイパー

本体等グリーン部の塗装色。  
グリーン (35%) +  
ホワイト (35%) +  
ニュートラルグレー (25%) +  
ブルー (5%)

内部フレーム、武器等  
ダークグレー部の塗装色。  
ニュートラルグレー (90%) +  
ブラック (10%) +  
ブルー (少量)

武器等ライトグレー部  
の塗装色。  
ニュートラルグレー (90%) +  
ホワイト (10%) +  
ブルー (少量)

ビームライフル等  
ホワイト部の塗装色。  
ホワイト (100%) +  
パープル (少量) +  
ブラック (少量)

バーニア内部等  
レッド部の塗装色。  
モンザレッド (100%)

後頭部センサー等  
ライトグリーン部の塗装色。  
スカイブルー (80%) +  
デイトナグリーン (20%)

## 連邦兵

軍服 ライトグレー部  
の塗装色。  
ガルクレー (90%) +  
ライトブラウン (10%)

ブーツ グレー部  
の塗装色。  
レッドブラウン (70%) +  
ホワイト (30%)

袖 レッド部の塗装色。  
シャインレッド (70%) +  
ホワイト (20%) +  
イエロー (10%)

襟等イエロー部の塗装色。  
イエロー (95%) +  
オレンジイエロー (5%)



## ワンポイントステップ

スミ入れしてみよう!!

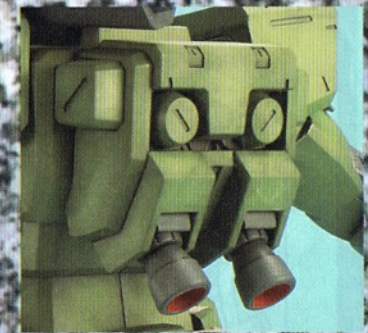
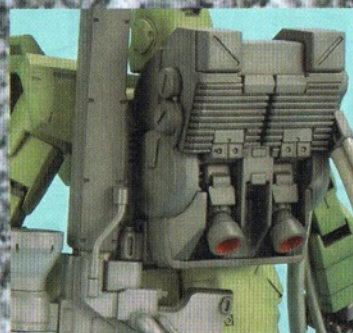
ガンダムマーカースミ入れ用(別売り)などを使用して、ミノの所に線を引くことで、模型が引き締まります。



[before]



[after]



▲ 強制冷却用にヒートシンクを増設したタイプのランドセルを再現。ロングレンジ・ビーム・ライフルを左右にマウント可能。

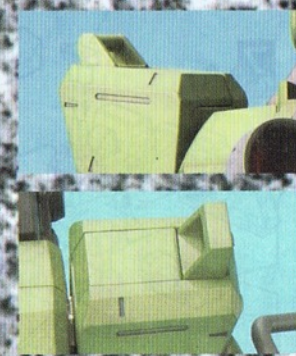
▲ 劇中に登場した通常型のランドセルも選択可能。

▲ 腕、脚部装甲は、脱着可能。各部フレーム、内部メカを再現。ビーム・サーベルラックは可動式。左右腰部マシンガンのマガジンは脱着式。



▲ 肘、膝の二重関節により、肩でしにミサイル・ランチャーを担ぐなどの、大胆なポージングが可能。

▲ 陸戦用に装備された、ビーム・ライフルやマシンガンなどの豊富な武装をセット。



▲ 機体を覆い隠すカムフラージュネットにより、戦場のシチュエーションディスプレイが可能。

▲ 胸部クレーンアームは可動式。

▲ 肩のスリングバーは二種類からの選択式。

▲ 連邦兵のフィギュアが搭乗するコクピットはハッチ開閉式。シート、コンソールを再現。



**6** (4)

D13  
D6  
D14

(向きに注意)

(向きに注意)

※奥までしっかりと、はめ込みます。

A30 B17

**6** (5)

A14

1

2

**6** (6)

PC1 B19  
PCE  
PCH  
PC2

(先に組む)

**6** (7)

E17 H4  
A22  
A29  
A20

1  
2  
3

(シール)

G20  
G14  
G19

**7** (1) 〔左脚の組立〕 LEFT LEG

D16 PC1  
D33  
B30  
B31  
B32

**7** (3)

PC6  
D22 PCA  
D21  
B24

**7** (2)

B20 A6  
C1 C2  
C3 C4

(向きに注意)

**7** (4)

G6  
D11 B24  
B27 PCH

1  
2



**7**  
**(4)**

D6  
D14  
D13 (向きに注意)  
B16  
A31

※奥までしっかりと、はめ込みます。

**7**  
**(5)**

D29  
A15

**7**  
**(6)**

PC1  
B18  
PCE  
PCH  
(先に組む)

**7**  
**(7)**

A21  
A28  
H4  
E18

(シール)  
G17  
G18

**8** **WAIST UNIT**

・組立**8**で使用するパーツ

A B D E PC

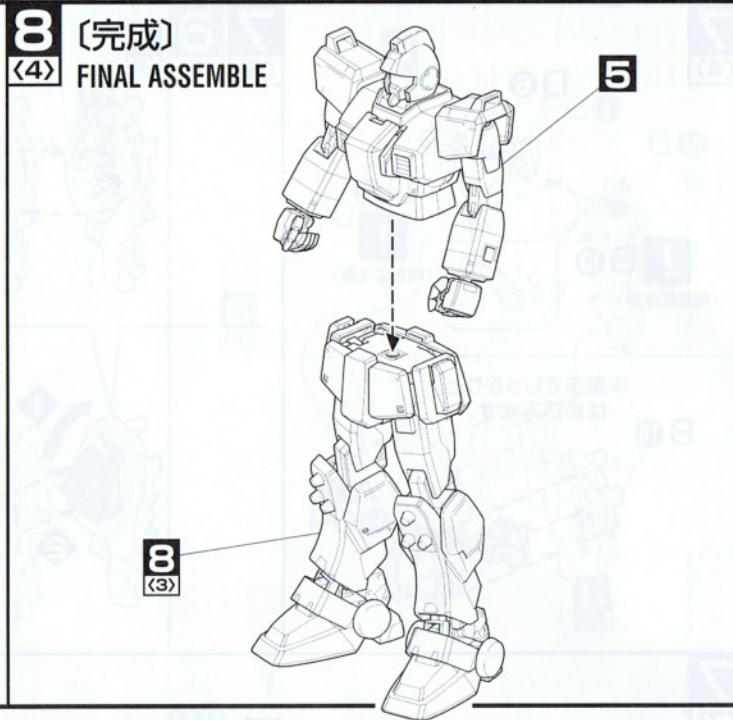
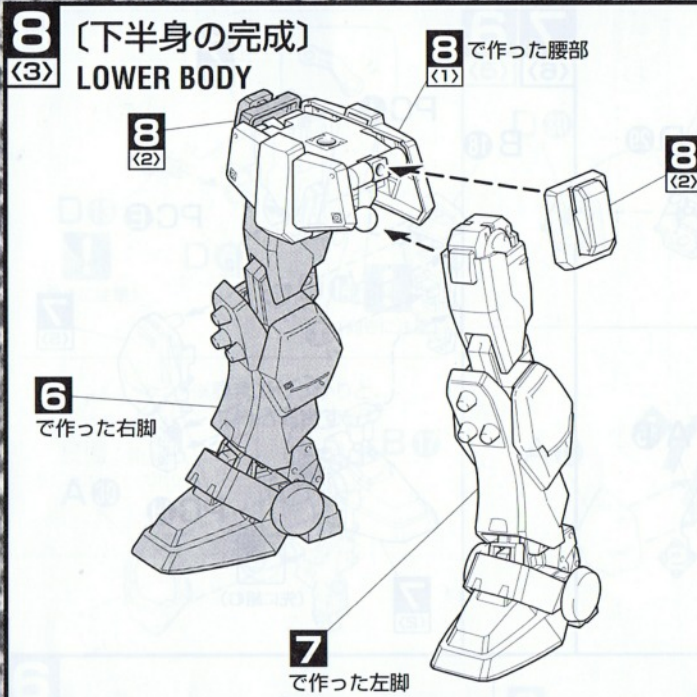
**8** (腰部の組立)  
**(1)** **WAIST UNIT**

D25  
D26  
D23  
B22  
PCE  
PC5  
B23  
A12  
PCL  
A7  
A13  
E13 (後に組む)

**8** ×2  
**(2)** 2個作る

D31 (向きに注意)  
A8 (A9)  
A33・A34





# LONG RANGE BEAM RIFLE

## (ロングレンジ・ビーム・ライフル)



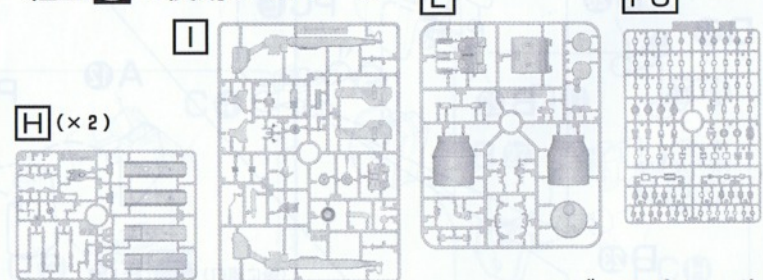
狙撃用に開発されたビーム発振システムとサイトスコープを備える長射程用の武装。

エネルギーCAPシステムをバイパスして外部ジェネレーターから直接エネルギーを供給することが可能で、額面通り“戦艦並み”の威力と射程を持つ。ただし、その場合でも制御信号やアイドリング用のエネルギーなどはMS本体を経由する必要があるため、機体と銃身の強制冷却が不可欠である。

そのための専用装備もこの武装の稼働には必須となっており、ケーブルとパイプを介してエネルギー供給と冷媒の循環を行う。また、同様の機能を追加装備するバックパックも開発されており、チャージ可能なエネルギーの総量や冷却効率は設置型のものより下回っているものの、拠点から離れたアンブッシュでの狙撃も可能となっている。



・組立**9**で使用するパーツ

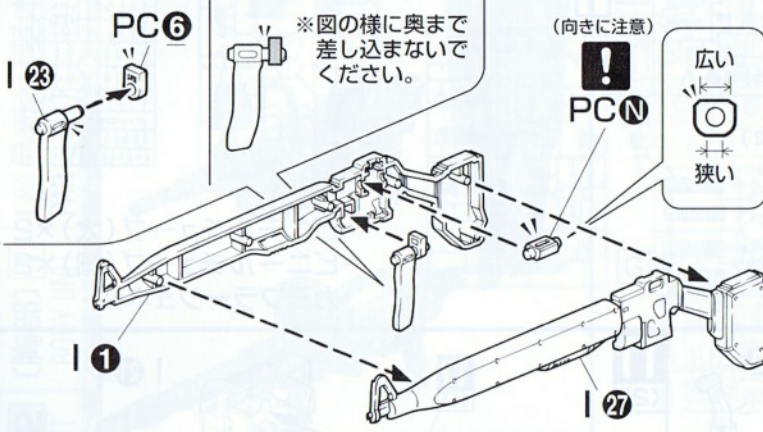


・ジュエルシール



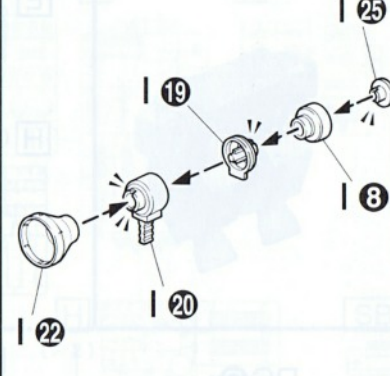
# 9 [ロングレンジ・ビーム・ライフルの組立]

## 9<1> LONG RANGE BEAM RIFLE



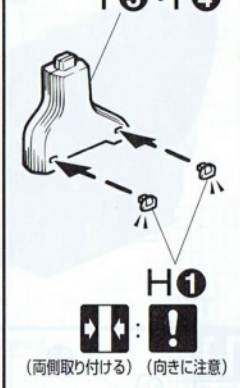
# 9

## 9<2>



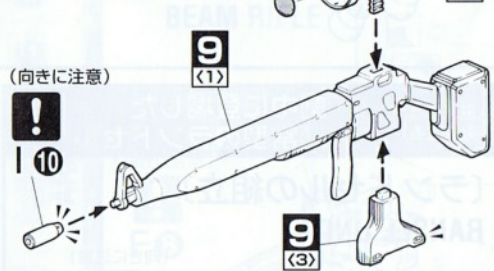
# 9

## 9<3>



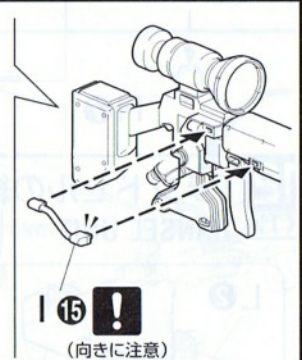
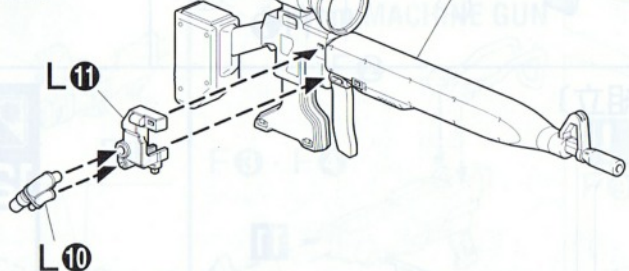
# 9

## 9<4>



# 9

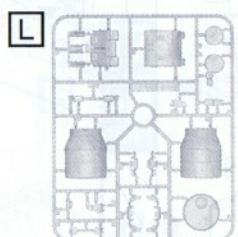
## 9<5>



# 10 GENERATOR

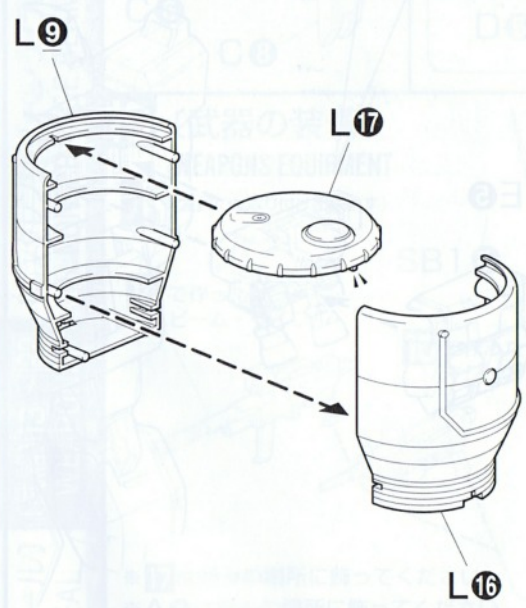


・組立10で使用するパーツ



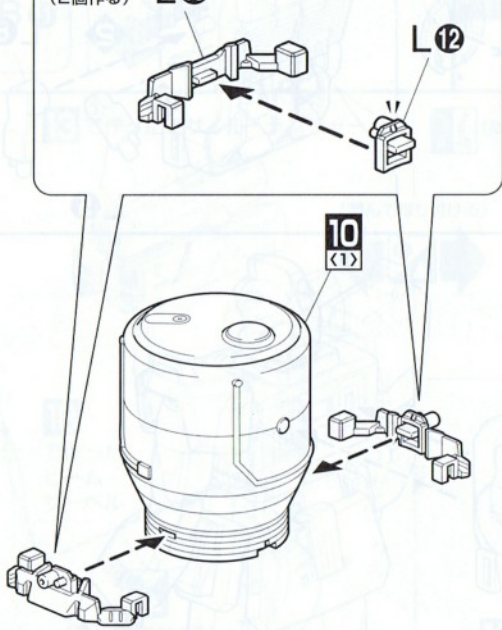
# 10 [ジェネレーターの組立]

## 10<1> GENERATOR



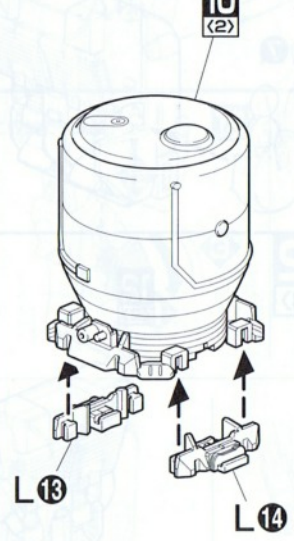
# 10

## 10<2>



# 10

## 10<3>



【基本説明】 HOW TO

【部品表】 PARTS LIST

【胸部】 BODY UNIT

【頭部】 HEAD UNIT

【腕部】 ARM UNIT

【脚部】 LEG UNIT

【完成】 FINAL ASSEMBLY

【ロングレンジ・ビーム・ライフル】 LONG RANGE BEAM RIFLE

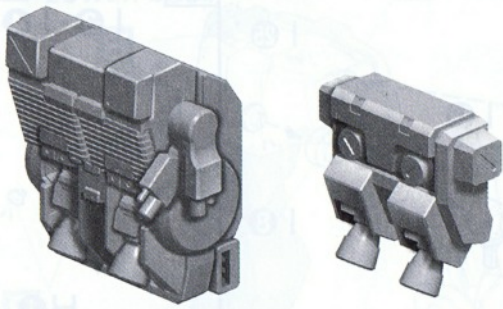
【武器】 WEAPONS

【シール】 SEAL

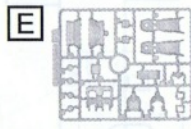
Scanned by www.plasticandplasters.com



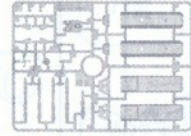
# 11/12 RANSEL UNIT



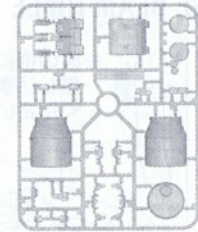
・組立11・12で使用するパーツ



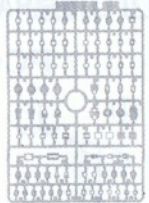
H (x2)



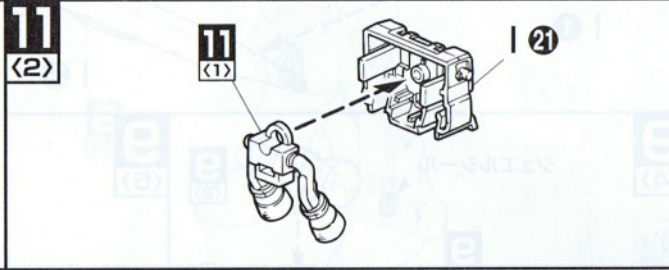
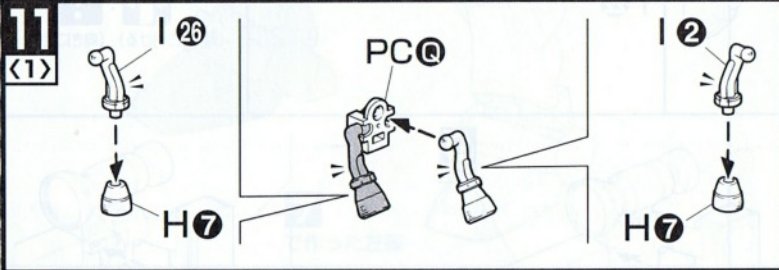
L



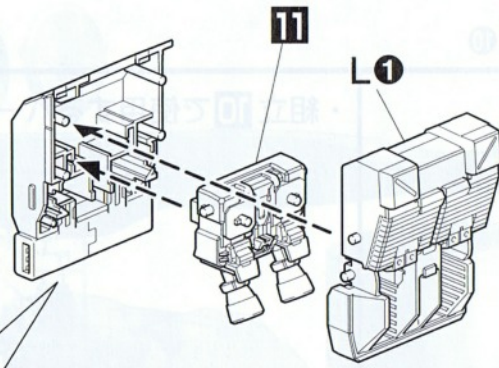
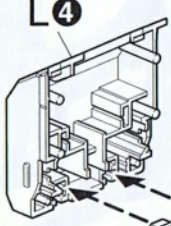
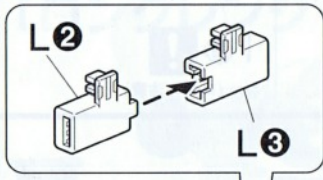
PC



- ・ビニールチューブ(太)×2
- ・ビニールチューブ(細)×2
- ・カモフラージュネット

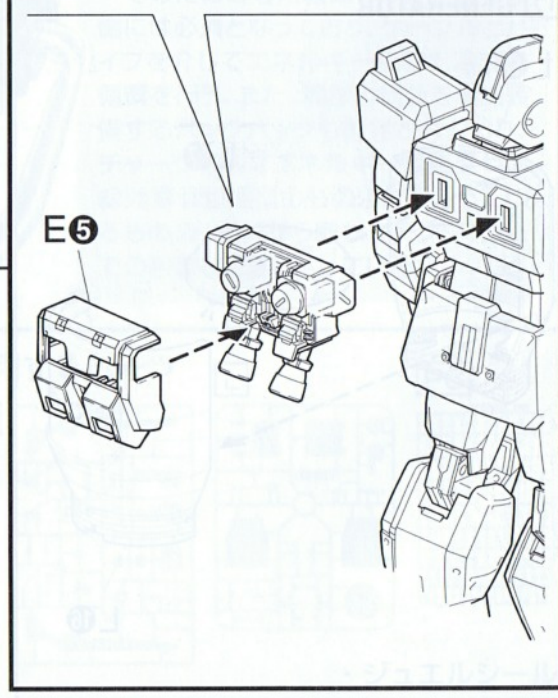
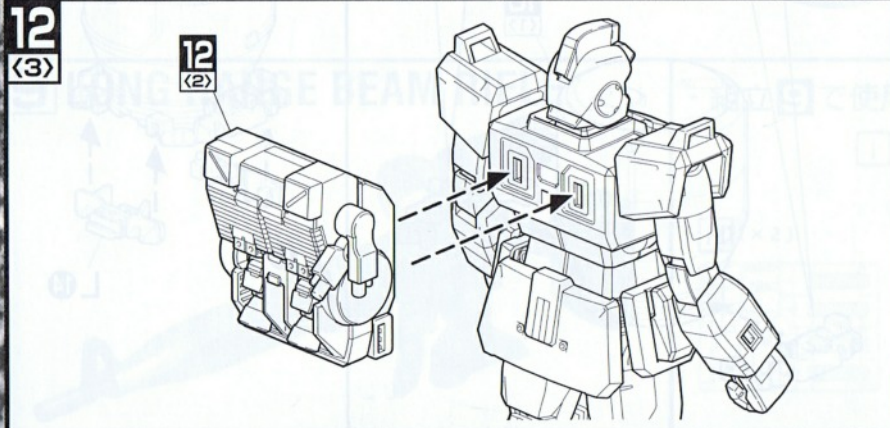
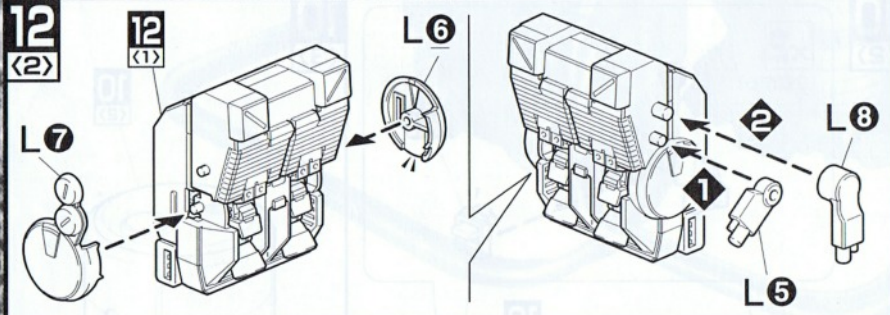
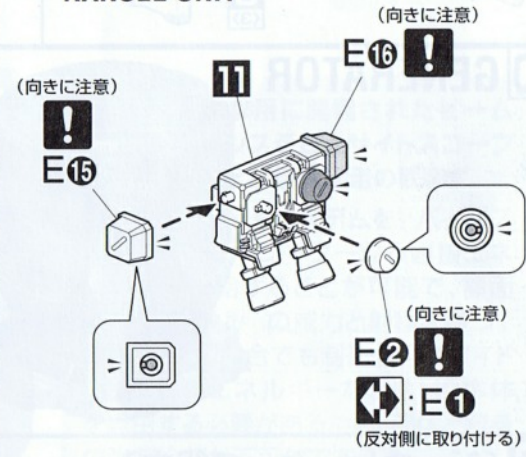


## 12 (ランドセルの組立) 12 (1) RANSEL UNIT



(選んで組み立てる) ・劇中に登場した通常型のランドセル

## 12 (ランドセルの組立) RANSEL UNIT





10で作った  
ジェネレーター

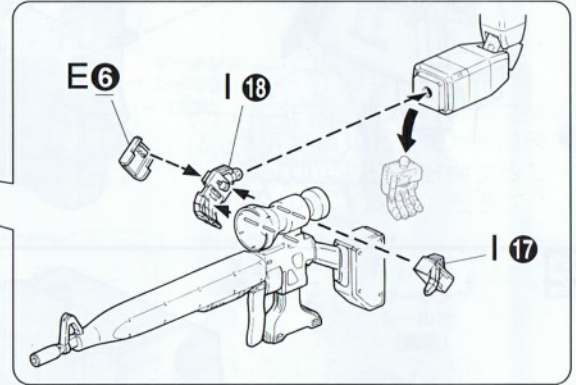
9で作った  
ロングレンジ・ビーム・ライフル

ビニールチューブ(太)

ビニールチューブ(細)

ビニールチューブ(細)

ビニールチューブ(太)



※カモフラージュネットは写真を参考に飾ってください。

カモフラージュネット

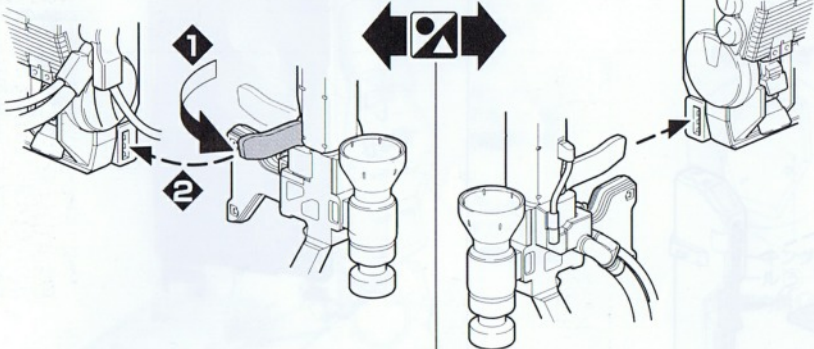


※ロングレンジ・ビーム・ライフルは、  
ランドセルに取り付けることができます。

〈右側〉

〈左側〉

(選んで取り付ける)



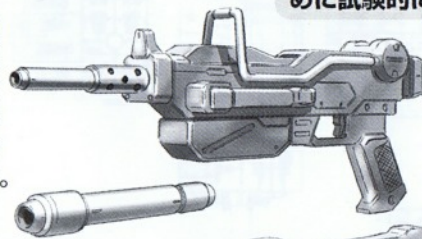


# WEAPONS (武器)

RGM-79[G]ジム・スナイパーの仕様は、いわゆる陸戦型ジムとほぼ同様のものであり、装備可能な武装は多岐にわたる。MSそのものの運用が模索されている途上にあり、その実効性を検証するために試験的に投入された兵装もあった。

## マシンガン

威力の割りに小型で扱いやすく、特に地上に配備された部隊に多く支給されている。連邦軍のMSの標準的な装備。予備のマガジンを腰部アーマーに装備できる。



## ビーム・サーベル

連邦軍製MSの標準的な兵装。ビーム・ライフルよりもエネルギー消費が少ないため、本体からのゲイン供給も可能。近接戦闘および白兵戦時に威力を発揮する。



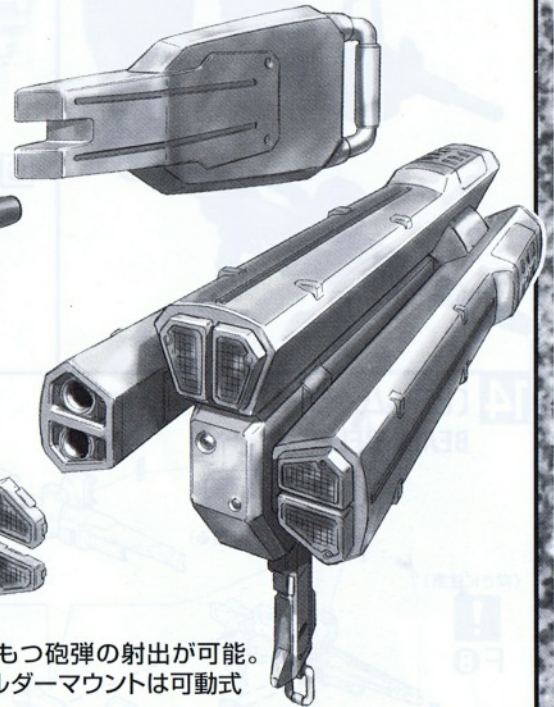
## ビーム・ライフル

実体弾を凌駕する威力をもつが、実用化直後であるため実戦部隊への配備は遅れており、定数を満たせず貴重な装備となっている。



## シールド

腕部のハードポイントに装着する防御用装備。白兵戦闘時にはポジションを変更することで物理的打突用の武器としても使用可能となる。



## ミサイル・ランチャー

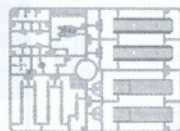
展開式の安定翼をもつ砲弾の射出が可能。装弾数は6発で、ショルダーマウントは可動式

## 13 WEAPONS



・組立13で使用するパーツ

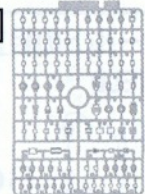
H (×2)



I



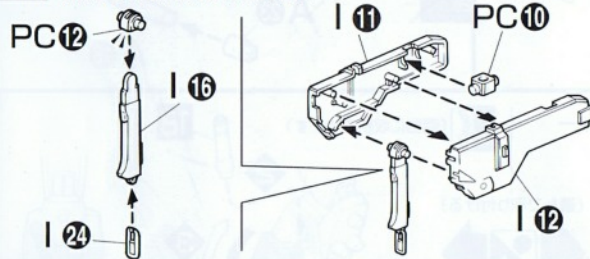
PC



・カラーシール

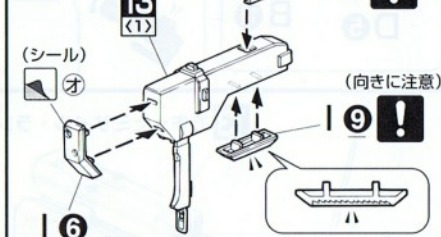
## 13 (ミサイル・ランチャー)

### (1) MISSILE LAUNCHER



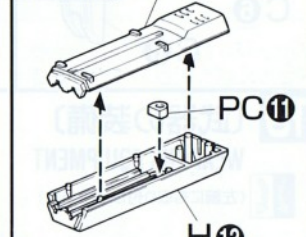
## 13

### (2)



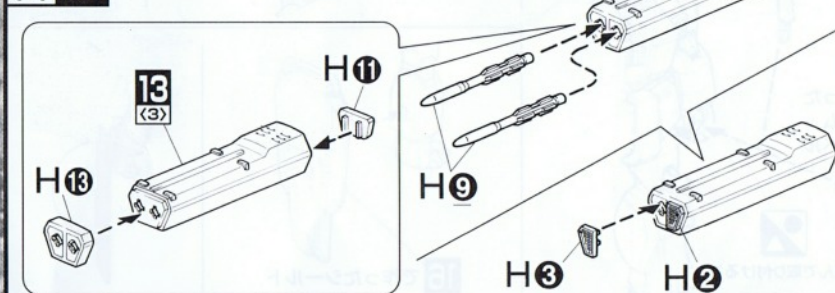
## 13 ×4

### (3) 4個作る



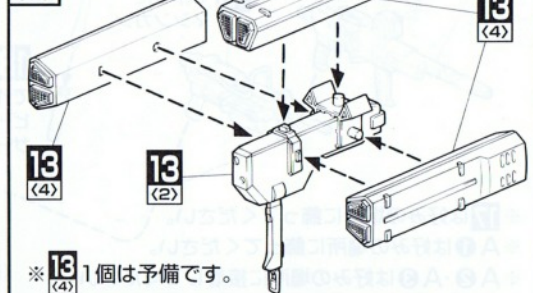
## 13 ×4

### (4) 4個作る



## 13

### (5)



※13(4) 1個は予備です。

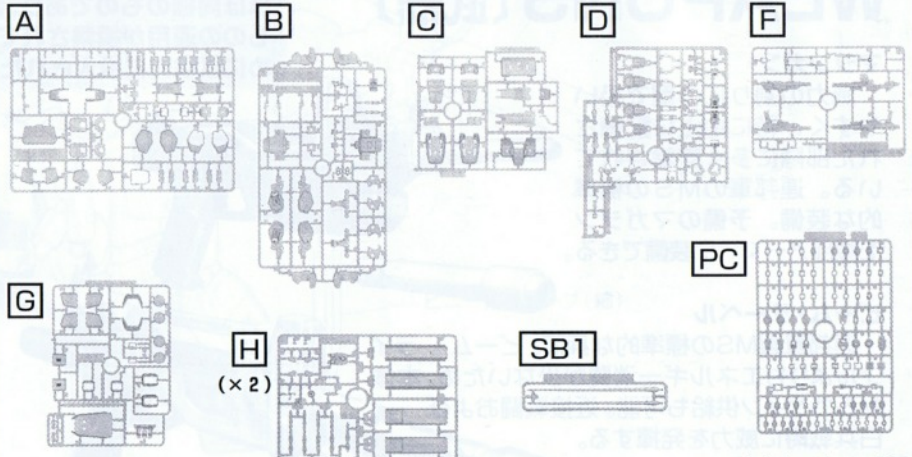
【基本説明】 HOW TO  
 【部品表】 PARTS LIST  
 【胸部】 1 BODY UNIT  
 【頭部】 2 HEAD UNIT  
 【腕部】 3, 4, 5 ARM UNIT  
 【脚部】 6, 7 LEG UNIT  
 【完成】 8 FINAL ASSEMBLY  
 【ロングレンジ・ビーム・ライフル】 9 ~ 12 LONG RANGE BEAM RIFLE  
 【武器】 13 ~ 22 WEAPONS  
 【シール】 SEAL



14 15 16 17 18  
WEAPONS



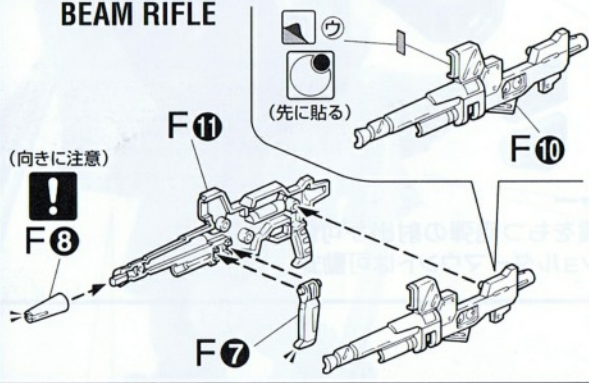
・組立 14・15・16・17・18 で使用するパーツ



・カラーシール

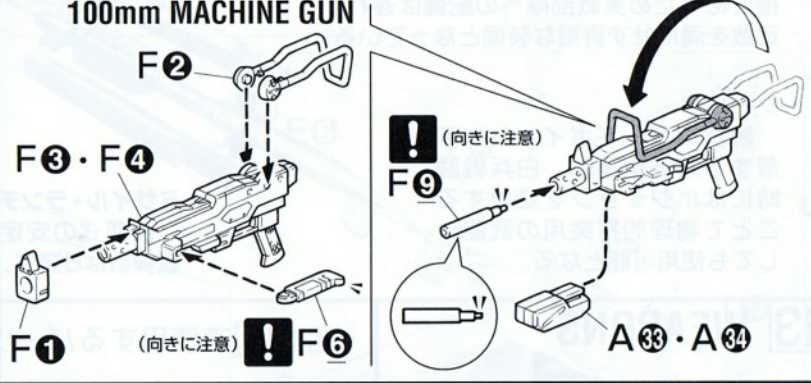
14 [ビーム・ライフルの組立]

BEAM RIFLE



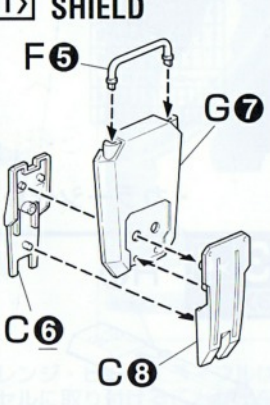
15 [100mmマシンガン]

100mm MACHINE GUN



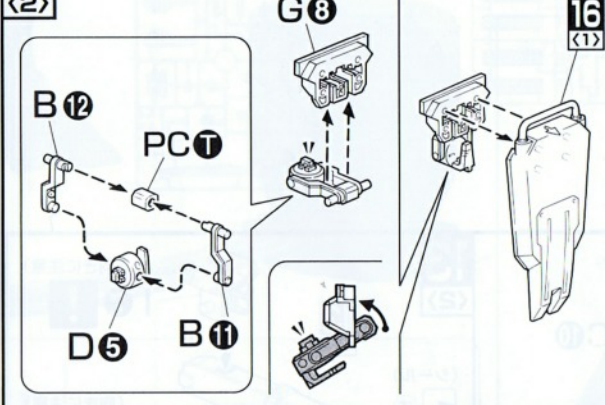
16 [シールドの組立]

SHIELD



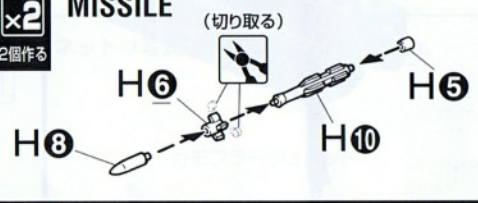
16

SHIELD



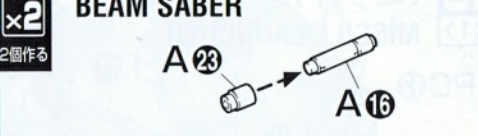
17 [ミサイルの組立]

MISSILE



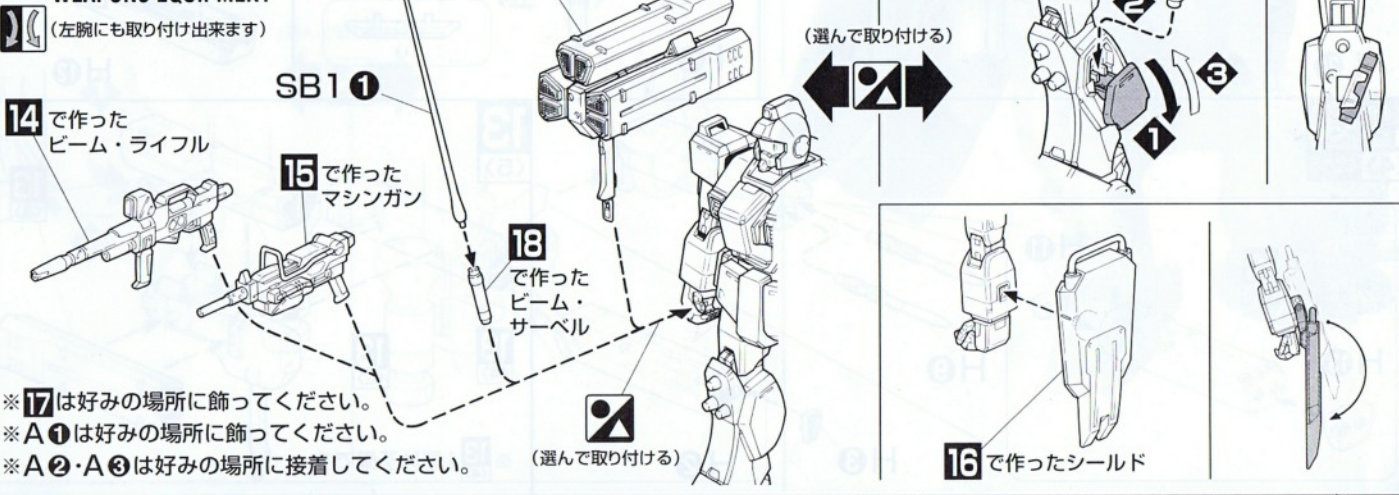
18 [ビーム・サーベルの組立]

BEAM SABER



19 [武器の装備]

WEAPONS EQUIPMENT



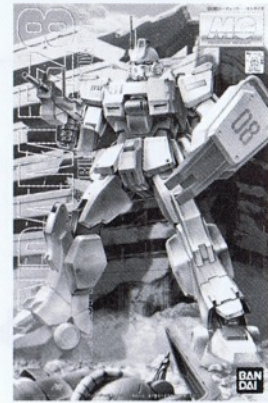
※ 17 は好みの場所に飾ってください。  
※ A1 は好みの場所に飾ってください。  
※ A2・A6 は好みの場所に接着してください。



※この商品に、バックパック及びコンテナは入  
っておりません。ジム・スナイパーには、右の  
陸戦ガンダム(別売り)ガンダムEz-8(別売り)  
に付属のバックパック及びコンテナを取り付  
けることができます。

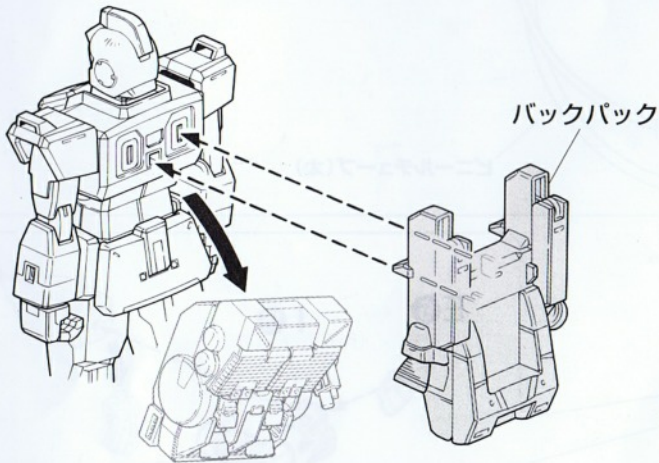


陸戦ガンダム  
(別売り)

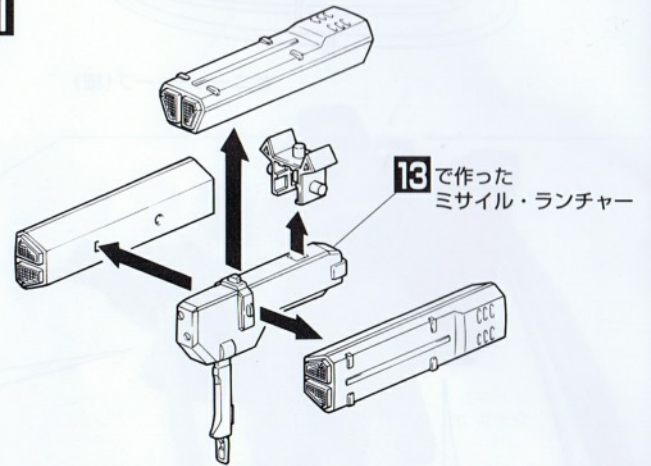


ガンダムEz-8  
(別売り)

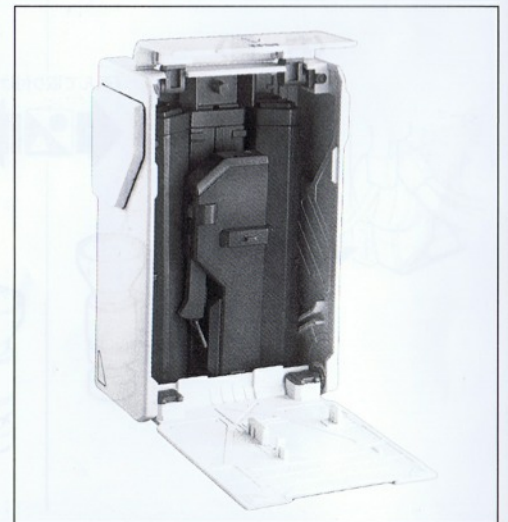
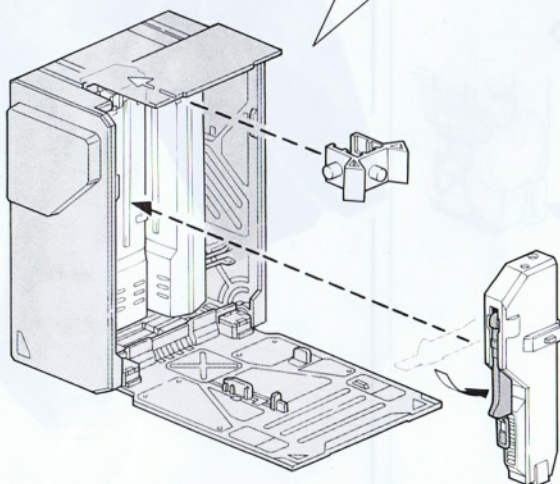
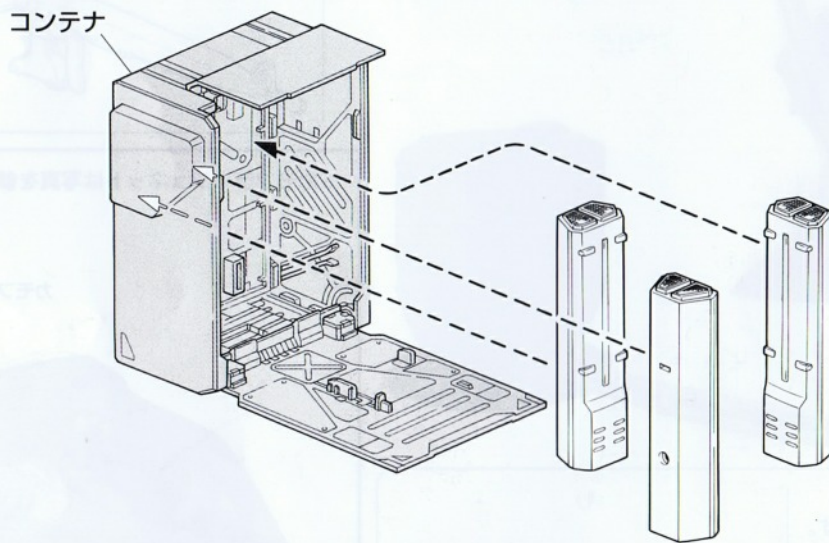
20



21



22



20



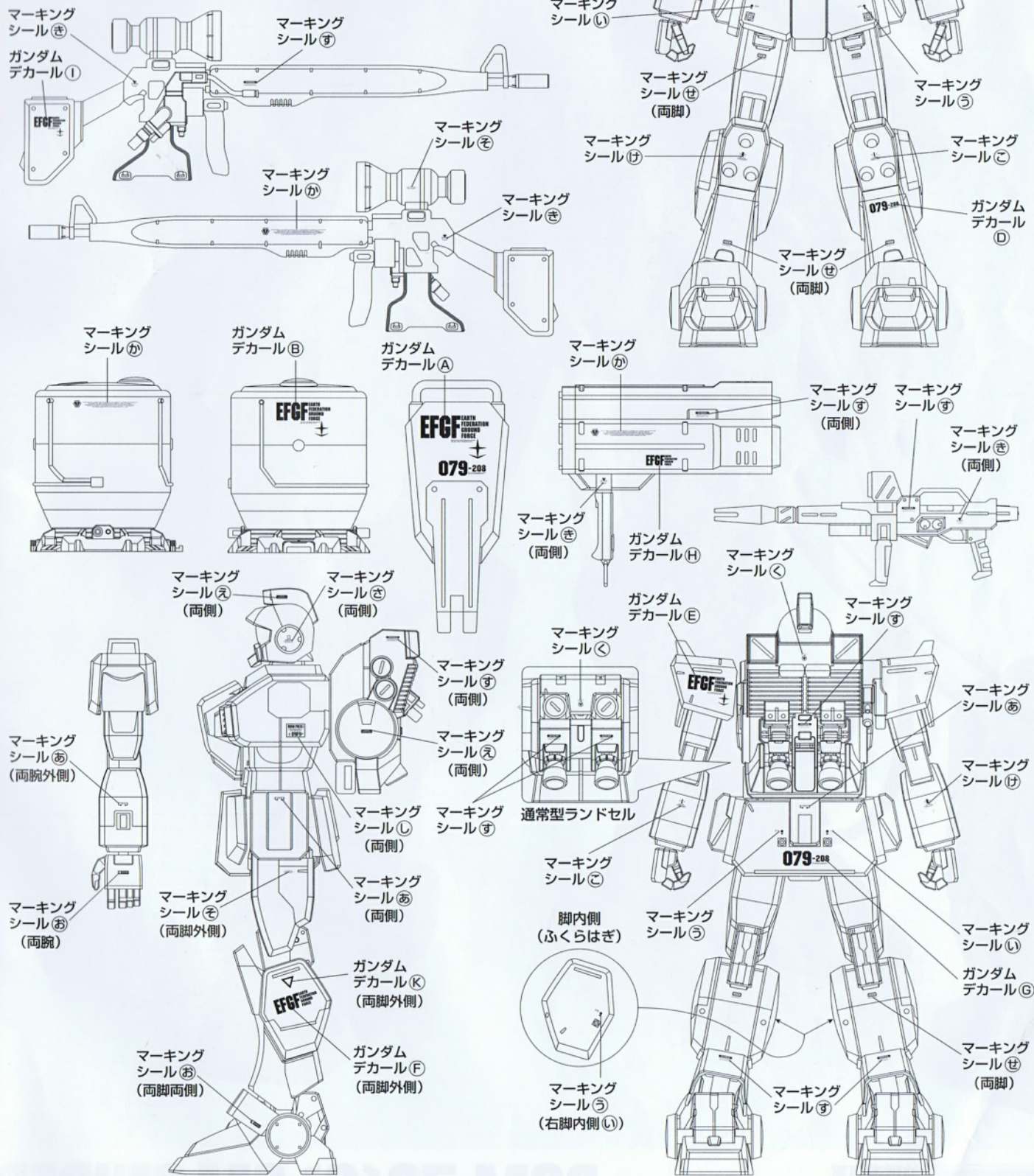
# Seal

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

## ガンダムデカールの貼りかた。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

このマーキングシール及びガンダムデカール指示は一例です。イメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。





地球連邦軍  
先行量産型モビルスーツ  
RGM-79(G)「ジム・スナイパー」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル

**RGM-79(G) GM SNIPER**  
E.F.G.F. FIRST PRODUCTION MOBILE SUIT